

## 総社市教育委員会会議録

- 1 開 会 平成31年1月25日 午後 1時57分
- 2 閉 会 平成31年1月25日 午後 2時55分
- 3 場 所 総社市保健センター2階 資料展示室
- 4 出席又は欠席した委員

### 出席委員

教育長	山 中 榮 輔
教育長職務代理者	林 直 人
委 員	小鍛治 一 圭
委 員	三 宅 眞砂子
委 員	上 岡 仁
委 員	児 島 塊太郎

- 5 会議に出席した者

教育部長	服 部 浩 二
参事兼庶務課長	弓 取 克 哉
学校教育課長	北 川 和 美
こども夢づくり課長	小 野 玲 子
生涯学習課長	横 田 優 子
参事兼文化課長	永 田 忠 幸

- 6 会議録署名委員

山 中 榮 輔	上 岡 仁
---------	-------

- 7 付議事件

議案第1号 総社市教育委員会児童生徒表彰（総優賞）について 原案可決

- 8 議事の概要 別紙のとおり

開会 午後1時57分

**山中教育長** それでは1月の教育委員会を始めたいと思います。まず最初に、会議録の署名委員ですが、上岡委員でお願いいたします。よろしく申し上げます。本日は付議案件が1件でございます。最初に議案第1号について事務局から説明をお願いいたします。

**北川学校教育課長** 【事務局説明】

**山中教育長** それでは、何かご質問ご意見がありましたらお願いいたします。

**林職務代理者** 皆さん難しい名前ばかりですね。読めませんよね。

**山中教育長** 大規模校と小規模校では選ばれる人数が大分違いますので、人数割りにしたいができない。

**林職務代理者** ちなみに、多分小学校6年生と中学校3年生だと思いますけども、男女比ってどうですかね。名前見ただけでは全然分からない。

**北川学校教育課長** 私も男女比の詳細は把握しておりませんが、例年女の子の方が多。1対2くらいに分かれるという印象です。

**山中教育長** 7割くらい。

**林職務代理者** 総社の教育大綱に基づいてですね、心優しく総社を愛して、そして礼儀正しいというところでもって、総社を愛するというところの部分というのは、なるほどなと思うところもあるし、別のところでは、学力も優秀な子どもという視点で持って子どもたちをみてみても面白いのかなあという感じもします。

**山中教育長** ほかにご意見がありますか。

(質疑なし)

**山中教育長** ご異議がないようですので、この原案のとおり可決してよろしいでしょうか。

(異議なし)

**山中教育長** ありがとうございます。

**山中教育長** 続きまして私からの報告をいたします。今年の成人式は、例年より段々良くなって落ち着いて、最後にみんなで歌を歌ったりですね、なかなか良かったのではないかと思います。ただ例年よりも少しずつ、毎年参加者は減ってきている。

今現在は1学年660人くらいですけれども、当時は820人くらいいたのではと思いますが、1学年並みに600人集まったということはすばらしいことだと思います。

それからビッグスリーですけれども、総社小学校の建替え、認定こども園、それから給食調理場。総社小学校は2月28日、午前10時から新校舎の完成式を行います。教育委員さんにはご案内いたしますので、是非ご出席をお願いいたします。

それから、実は幼稚園にエアコンがなく、夏暑いという声がある。実はエアコンを入れていないのは近隣の市町のなかでは総社市だけ。浅口、井原、高梁、里庄、全部幼稚園にはエアコンが入ってます。

今年度から笠岡もエアコンが入ってまして、我々のところもエアコンを入れたいといけない。

もう1つはですね、幼稚園での給食。給食も、実は浅口、井原、高梁、里庄、笠岡は実施している。

笠岡は今年度から幼稚園の半分50%実施し、来年度には100%にするといっています。

この周辺でやってないのは、早島と総社だけ。早島は実は先日新聞発表に、幼稚園の給食を実施するというのが載っていました。そうすると我々のところだけしか残らないということです。そういうこともあろうかと思って、新しい給食センターは8,000食の処理能力にしています。今現在6,200食から6,300食ですが、多分1,000食を少し超えるんじゃないかということで8,000食にした。これが意外に早くなったということで、ちょっと驚いておりますけれども、ただ世の中の生活の形態が、お母さんも働くという状態になっています。そうなるとお弁当を作るのに5時頃起きないといけないとかそんなことになっていたし方ないかなど。

それからもう1点、野口健さんがネパールでランドセルを毎年配られているんですけども、ランドセルを300個寄贈してもらえないかという希望が市長のところがありまして、実は校長先生経由で話をしております。今、小6の子どもたちが卒業するときはどうするかというのはあるんですけども、これは個人の意思によります。それと中学生以上でも、昔使っていたものを家の中に残してる子どももいるんです。そういうことで、学校だけではなく範囲を広げて300個集める。中古でも良いということなので、これは個人の思いによりますけれども、300個出来れば集まれば良いかなあと思っております。そういうつもりで努力しようと思っております。以上です。

**山中教育長** それでは続きまして報告事項にうつります。総社小学校改築、給食調理場、新認定こども園建設工事の進捗状況について説明をお願いします。

**弓取庶務課長** カラー刷り2枚ものの資料をお願いします。先ほども教育長が申されましたビッグスリー、総社小学校、新しい給食調理センター、新しい認定こども園でございますが、総社小学校は、校舎はほぼ完成しておりまして、今週、様々な検査に入っております。工事関係者の検査でありますとか消防検査、それから市の建築士による建築検査等を今週予定しております。来週月曜日には市の主任検査員の方から検査を受け、若干の手直しが出てくると思いますが、そういったところの検査を受け1月末には、完成の運びを目指しているところでございます。検査が終わり次第、引越し作業に入らせていただきます。2月24日までに引越し作業を終了いたしまして2月25日から新しい校舎で子どもたちが授業できるような体制を整えていきたいと考えております。

なお、先に授業が始まっておりますけれども2月28日、先ほど教育長も申されましたように午前10時から完成記念式典を、1階のホールで行いたいと思っております。教育委員の皆さまにもご案内を差し上げたいと思っておりますので、ご参集のほどよろしくお願ひしたいと思います。

それから1枚お開きいただきまして、学校給食センターでございます。現在まだ工事の進捗

状況は30%というところがございますが、今、仮囲いをして建物の中が見えないところがございますけれど、1階部分のコンクリートを打ったりとか中での作業を順次進めておりまして、工事のほうも最大で2週間ほど遅れていたんですが、鉄骨工事等の作業工法を見直したことによりまして、今現在、スケジュール通りの作業となっておりますので、今年の9月2日からの給食提供にむけて、現在、作業のほうを進めているという状況でございます。

最後に、新しいこども園でございます。工事の今現在の進捗率は約60%ということで、現在仮囲いがとれまして建物の姿を見ることが出来るようになりました。これからは中の作業を急ピッチで進めてまいることになりまして、4月1日の開園に向けて作業を進めているところがございます。また、この新しいこども園の完成記念式典等、日程等決まりましたら教育委員の皆さまにもお知らせして、ご参集のほうお願いしたいと考えております。以上です。

**山中教育長** こども園の竣工式は、3月28日、10時からに決まっているのでは。

**小野こども夢づくり課長** 日程はまだ調整中です。

**弓取庶務課長** 一応3月28日ということで調整しておりますが、3月16日の土曜日との両方で調整中でございます。

**山中教育長** 16日か28日か、早めにお伝えするようにすること。

**弓取庶務課長** 3月28日の木曜日か3月16日の土曜日というところで今動いておりますので、またご案内を差し上げたいと思っております。

**山中教育長** 何か、ご質問ご意見がありましたら、お願いいたします。

**上岡委員** 新認定こども園の入園希望者はどうなっていますか。

**小野こども夢づくり課長** 認定こども園のほうは、すでに入所困難な状況になりました。今年は無償化が見えていますので、大変申し込みも多く、例年50名くらいですが、第三次査定まで終わっても入れない子が128名くらい出ておりまして、今も必死で調整をしているところです。幼稚園のほうにも20名強送り込むことが出来ていますけれども、最終調整といったところで、新しいこども園も満員に近いような状況になっています。

**上岡委員** 新しい認定こども園もオーバーした場合はどういうふう調整されるのですか。最終的にはくじ引くんですか。

**小野こども夢づくり課長** 100パーセント超えても120パーセントくらいまでは受け入れてもらうようにはしています。点数が大変低い方もおられる。両親共働きですと満点の20点付きますけれども、お母さんがそんなにもフルで働いていない方は、14点くらいの方もいっぱいいるんで、高いところから入れるようにしています。くじ引きとかではなく、点数の高いところから入るようにしています。

**上岡委員** 収入とか保育を必要とする度合いとかを見ていますね。それで教員の数は足りていますか。その120パーセントの場合はどうでしょう。

**小野こども夢づくり課長** 教員の数はこどもの人数に合わせてですけども、どの園にも言えますが保育士不足は総社の場合も同じく、やりくり困っている。もう1人いれば0歳児を

入れることができるという園もありますし、募集はしているんですけども、なかなか集まっていない状況です。

**上岡委員** 分かりました。

**山中教育長** ほかにご質問ご意見がありましたら。

**林職務代理者** 関連して、120パーセントオーバーという考え方は、各年齢によって収容人数というか対象人数が決まっていますよね。例えば0歳児では1人で3人という形になっていますよね。1人増えたということは、つまり、30パーセント以上増えるから133パーセントになって、とてもそれは絶対認められないという話になっているんですよ。

**小野こども夢づくり課長** その基準は緩めないようにしています。園全体では今は緩和化されていて120パーセントを5年間、毎月続けているとペナルティになっていますけれども、こどもに対する教員の数は厳しく守ってもらうようにしています。保育の質が落ちることが理由です。

**林職務代理者** ただ3歳以上だったら、2割といたら結構な数になるから、そこは認めていますよということですが、なかなか調整が難しいですね。人数は3歳未満のほうが多いと思いますけど。

**小野こども夢づくり課長** 圧倒時に多いです。1,2歳が本当に多いです。ただ3歳以上は待機が無いです。

**林職務代理者** 幼稚園もありますから。あともう1件。総社小学校は、近くに住んでいるので分かりますが、夜遅くまで電気が点いていますけど、あれは最後の仕上げで遅くまで作業されているんですか。割と遅くまで9時10時まで電気が点いてるときがあるんですけどね。工事現場と校舎内ですが。

**弓取庶務課長** 今、急ピッチといいますか、最終の内装工事などをしております。工期内に完成させ、子どもたちが3学期に少しでも長い間居ていただくために工事を進めているという状況です。当然、安全の部分は確保しながら工事をしております。

**山中教育長** よろしいでしょうか。それでは、卒業式と入学式について説明願います。

**北川学校教育課長** それでは別紙、平成30年度卒業式、平成31年度入学式予定表をご覧ください。例年通りのような式の次第になっております。教育委員の皆様方には、また例年通りのような感じで出席をお願いさせていただきたいと思っております。つきましてはこの中の出席不可の日にちがあれば申し出ていただきまして、予定を来月の中旬までにはお出しをして送付させていただきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

**山中教育長** よろしいでしょうか。幼稚園は今年、兼務が無くなったので、1日開催になりました。よろしく願いいたします。

**山中教育長** 次に、清音ふれあい広場の遊具についてお願いします。

**横田生涯学習課長** それでは、清音ふるさとふれあい広場遊具設置業務プロポーザル結果についてご報告をさせていただきます。今年度当初の4月に遊具の破損による事故が起きたこ

とを受けまして、6月補正予算に遊具の取替えに要する予算2千万円を計上し、業者選定を行ってまいりました。業務を委託する業者を選定する上で、金額は安いに超したことは無いんですけども、安全性をはじめ、質や内容を重視すべきであろうという考え方から、企画提案を行っていただくプロポーザルの方式を採用し、業者のほうを決定いたしました。資料の一番上に記載しておりますように、決定業者は株式会社コトブキ中四国支店でございます。遊具の業界では大手の一つでございます。契約金額が1,987万2000円。工期が平成30年12月27日から平成31年4月25日の予定でございます。本来、今年度の予算ですので3月末までに完成させるべきところですが、豪雨災害でスケジュールが予定より遅くなり申し訳ございません。業者には一日も早い設置をお願いしているところでございます。遊具の概要は、児童用の大型複合遊具、ターザンロープ、幼児用複合で構成されておりまして、ターザンロープというのが、この度事故のあったタイプの遊具でございますが、事故にあわれたお子様の保護者様から無くさないで欲しいというご要望もいただいておりますし、人気の遊具ですので再び設置をいたします。安全面については設置基準を満たしていることは当然のことながら設置後の点検に十分配慮をしていきます。資料の2枚目をご覧くださいまして、カラーの横向きの図でございますけれども、これが遊具の設置のイメージ図でございます。児童・幼児など年齢によってエリア分けをしておりますけれども、あくまで目安でございまして、幼児でも保護者が見守る中で児童エリアに挑戦していただいても構いません。特徴としましては、一箇所に子どもが集中してしまわないように、動線が多く考えられていること、それから図の真ん中に扇形の滑り台のようなものがありますけれども、これモーグルヒルと呼んでいる遊具でございまして、スキーのモーグル競技のように起伏のある面を自由に子どもたちがコース取りをして滑ったり登ったりという体験が出来るものであります。また、半透明になっていますので裏側の面でも楽しめるような工夫になっております。次のページをご覧くださいまして、航空写真に設置場所を赤い丸印で示しております。今の遊具がこの辺りに設置されておりますので、ここを基本に、もう少し空間を活かした配置になるように指定管理者の希望もとり入れながら設置をまいります。選考委員会は昨年12月14日に委員6名により行いました。委員は教育委員会、建設部の市の職員、それから指定管理者であります、きよね夢てらすの職員で構成をいたしました。企画提案に参加した業者は3社で、3枚目の資料別紙2にあるような結果になりました。3社とも日本公園施設業協会の認定企業ですので、安全面技術面に大きな差は見られませんでした。テーマやコンセプトの部分で開きが出ました。以上の結果でございます。

**山中教育長** それではご質問ご意見をお願いいたします。

**上岡委員** モーグルヒルですが、裏面が透明で裏面から見えるとはどういうことですか。

**横田生涯学習課長** 皆さまの図面には付けていませんが、水色の部分は半透明になっていて、滑り台の反対側から、モーグルヒルの上で遊んでいる様子が見えたり、それから日影があまり暗くなりませんので、そのスペースでも遊べる。いわゆる滑り台の裏側だと薄暗いことに

なってしまいますけれども、明かりが差し込みますので両方のスペースを活かして動線の一部として滑り台の下も行き来できるということになっています。

**山中教育長** ほかにご質問ご意見がありましたらお願いいたします。

**林職務代理者** 従来あった遊具は残っているやつもあるんですよね。全部取り除くんだっただかな。

**横田生涯学習課長** ほぼ取り除きます。周囲に単発の健康遊具という小さいのが3つあるんですけども、これは機能的に問題ないので残しますが、メインにあった大きい吊り型のものであるとか、もちろん事故のあったターザンロープをはじめ、すべて今の基準に見合わないのを撤去いたします。ごっそり取り替えます。

**山中教育長** ほかにご質問ご意見がありましたら。

**林職務代理者** もう1点だけ。この絵の中の扇形遊具の上のほうにあるパネルみたいなもの。これは太陽光パネルみたいなものですか。なんかよく分かんないけれども。

**横田生涯学習課長** これはデザインでして、ここが何かの機能をもってるというものではなく、屋根に変わるようなものですけども、編み目状で光を取り入れる構造になっています。

**林職務代理者** 僕だったら登るなあと。大丈夫なんでしょうねえ。

**横田生涯学習課長** 手が届かない高さにはなっています。

**三宅委員** 安全基準が変わって、新しい安全基準にしているってことなんですけど、また定期的に検査をしたり点検をしたりするのは、きよね夢てらすがするんですか。それとも、どこか他がするんでしょうか。

**横田生涯学習課長** 毎日、開放できる状態かどうかというのはきよね夢てらすは、点検表に基づいて点検をしています。それから年に1回は安全基準面で正式な資格を持った業者に点検をしてもらいなさいということになっていますので、専門業者による点検を行って、その際にその時の安全基準を満たしているかどうかを点検いたします。

**山中教育長** よろしいでしょうか。

(質疑なし)

**山中教育長** それでは次にいきます。日本遺産の申請について。

**永田文化課長** 最後の資料をご覧いただきたいと思います。赤米について日本遺産の申請を今年度行いました。今回が3回目でございます。今回は事前に文部科学省と協議をいたしまして、赤米の保存、伝承というか継承についてをメインの活動にしたら良いんじゃないかということで、こちらのほうで申請をいたしました。21日に県に提出いたしましたので、それから県を通して国のほうへ申請になります。ちなみに、今年度までに、申請は2020年のオリンピックまでで100件を認定する予定になっておりまして、今年度で67件が認定になっており、残り33枠でございます。今年度申請して、来年の4月中旬くらいに合否の決定があるのだと思います。以上です。

**山中教育長** ではご質問ご意見がありましたらお願いいたします。

**山中教育長** コンセプトは変えましたよね。

**永田文化課長** はい。変えないと申請できませんので。

**山中教育長** 変えないと通らないですよ。

**児島委員** 赤米というのは、皆同じ種類なのですか。

**永田文化課長** 種類は全部違います。

**山中教育長** ほかにご質問ご意見がありましたらお願いいたします。

**児島委員** 味はどうなの。

**永田文化課長** 私、地元が新本でして、新本の新庄地区というのがありまして、20軒ありますが、赤米について毎年担当が当番をすることになっています。その担当した時に玄米のほうを食べたんですけども白米と一緒に炊くとちょっと赤くなって、意外とおいしいなとは思いましたね。また霜月祭ではその赤米を使って甘酒をふるまっている。

**山中教育長** 何で赤米は無くなったのか、その淘汰された理由を教えてください。

**永田文化課長** やはり稲穂が新本のはかなり高いです。それで結局生産性が悪くなり商品価値がでないということで淘汰されていったということでございます。今年、南種子町に行かせてもらったんですが、南種子町の稲はもっと背丈がある。かなり高いので生産性は悪い。

**山中教育長** よろしいでしょうか。

**林職務代理者** 昔、赤米のお粥を販売していましたが、今もあるんですかね。

**山中教育長** 今もありますね。

**山中教育長** それではほかに何かありましたらお願いいたします。

**上岡委員** 児童表彰規程についてです。頑張っている子どもを表彰して元気付けるのは非常に良いことで、市として確か議員さんが質問してそれで出来たようなことを覚えていたんですけど。まあそれはそれで良いんですけど、各学校にもこのような規定があれば良いと思うんです。強制ではなくて学校が独自に作っても良い。調べてもらえますか。児童生徒とか、PTAとか学校とかですね。このような大きいところで表彰するのではなくて、自分のところで頑張って表彰して元気付けるというか、活性化を図るというか。そのような仕組みになっているかどうか調べられました。

**北川学校教育課長** 今回特に調べたということはありません。ただ私が小学校で勤務していた時の記憶をたどれば、善行表彰というものと、もう1つ警察からの表彰、旧さつき賞と言っておりましたけれども1年に1回は必ず出すようにということでお話がありました。それ以外にはやっぱり児童会で頑張ってるお子さんに学年の中ではそういうことをすることもよくあったんですけども特に表彰というところまではしておりませんでしたので、一度調べてみたいと思います。

**山中教育長** 育成センターには表彰規程があります。去年行きましたけど、善行表彰で良いのがいっぱいあり、それは子どもから大人まで全部あったけど、小学生と中学生が圧倒的に多い。



**上岡委員** 総社小学校勤務のときですが、総社小学校には児童表彰規程が無かったんです。あれだけの大規模校なのに。それでPTA会長さんとかとお話して、是非頑張っている子どもたちを表彰したい。大きいところで表彰されたいとかテニスでどこかのクラブに入ってる、ゴルフが上手な子とか、そういうものはあったとしても、普段の生活の中で頑張ってる子、小さいボランティアを積み上げたり、そういうふうな子どもたちを表彰するための規程を作っていたことがあるんです。教員も一緒に。それは良かったなあと。今それを宣伝しているわけではないんですが。ぜひそれぞれの地区です、本当に小さいことでも頑張ってる子が認めてもらえたらそれこそ文武両道的かなと思うんです。励みになるんじゃないかと思うんで考えてみていただけたらと思います。

**山中教育長** 趣旨はよく似ているんですけども、西中学区で西中が始めたのがあるんですね。グッドビヘイバーカードというのがあります。それが全体に広がって行って、ちょっとしたことでも頑張ったら先生が褒めて紙を渡すわけですよ。それが保護者にも伝わる。それを日常的にやっているということがすごく大事なことで、そしたらいつも保護者はですね、電話掛かってきたら何か悪いことしたんじゃないかと思うんですけども、良いことでカードが来るというのはすごくそういう点では良い。それを西中学区が始めて4年目になります。東中学区も去年から取り入れて行ってですね、それを総中学区も入れたい、それから昭和中学区も、全体にそういうことが広がって行ってですね、日常のことの積み重ねを頑張った子を表彰する規程を作ったほうが良いと思います。各学校共通でやることも大事です。それぞれの学校でやれば良いんですけども、そういう趣旨に沿ったルール作りです。今はそんな感じで、ちょっとしたことでも褒めるということが、それが子どもたちの自己有用感とかそこに繋がっていくので、いつも叱られてばかりではだめですから。まあ最近の子は褒めないと伸びませんから。日常的にそれをやってグッドビヘイバーカードが溜まるとグランプリみたいのがもらえるんですよ、表彰で。西中学区はそれやってますね。小学校から中学校に得点を持って上がれるんです。なかなかおもしろい制度ですから、またちゃんと調べてください。どういう状態になってるか。

**北川学校教育課長** はい、ちょっと調べてみます。

**山中教育長** ほかにありましたらお願いいたします。

**三宅委員** 【インフルエンザの感染状況を報告した。】

**山中教育長** それでは、次回開催予定ですが、教育委員会は2月18日月曜日の午後2時からこの部屋で開催しますので、よろしく願いいたします。次に3月の教育委員会の日程をお願いいたします。

(3月の教育委員会について日程調整)

**山中教育長** では、3月の教育委員会は、1回目は3月8日、11日、12日のうちの午前中で、2回目は3月19日の15時ということでよろしく願いいたします。

それでは以上で教育委員会すべての審議が終わりましたので閉会いたします。ありがとうございました。

【閉 会】

閉会 午後2時55分

上記記録している内容は、正確であるので署名する。

平成 年 月 日

教育長

委 員

職 員